

女性技術者交流フォーラムを開催

日建連とNEXCO西日本は、一月二十二日、大阪市・ホテル阪急インターナショナルにて女性技術者交流フォーラムを開催した。そこでは、更に魅力ある建設業界を創造するため、新名神高速道路建設において現場で活躍している女性技術者による意見交換が行われた。

今の仕事の魅力

山縣 約一年半前、現場は山を切り拓いている状況であったが、今は切土や盛土も進み、高速道路の形が見え達成感がある。多くの人の努力の結晶が、日々目の前で形になっていく様子が感慨深い。

市村 新名神高速道路に携わっている皆が「開通」という同じ目標に向かって、懸命に役割を果たし、バトンをつなぎ、大きな壁を乗り越えるところに魅力を感じている。

平山 高速道路を造るといふ目標に対して、いろいろな人がかかわり、協力し合いながら仕事を進めていることに魅力を感じている。

平賀 我々が施工している新名神高速道路が完成したら非常に役立つのだからなと感じながら、その気持ちで毎日のやりがいとし、ワクワクしながら仕事をしている。

三嶋 今までは見る側や車で走る側であったが、自分で計画を練って職人さんたちと協力しながら一緒に造っていることに感慨深く仕事をしている。

建設現場での困りごと

濱本 七年前に担当していた現場のトイレは、男女共同利用であったが、今担当している現場は女性専用のトイレがあり、綺麗である。

山縣 女性技術者が少ないため女性用トイレも数が少なく、現場によつては、トイレまですごく歩かなくてはいけない。女性用トイレの更なる整備対策も必要。

柔軟な働き方の実現

濱本 子育てとの両立で大変なのは、働く時間が限られていること。予定が急に変更になることに苦労しているが、テレワークや余裕を持ったスケジュールで仕事を進めることで、乗り切っている。

富樫 子育てをしながら現場で働くことは不安であったが、働きたい気持ちの方が勝り、挑戦してみたら、意外とできた。自らガラスの天井を造らないこと、周りをいかに巻き込むかが鍵。

平山 現実には子育て中に現場で働いている女性技術者は少数派。テレワークの拡充に期待する。

建設現場のDX

平賀 DXがもつと現場が進むことで、勤務地の転勤などがなくなると、世界中どこでも働くことができる、柔軟な働き方の実現に期待している。



株式会社大林組
大阪本店 新名神
宇治田原工務事務所
平山 稜子
2019年入社5年目

清水建設株式会社
関西支店 新名神
梶原トンネル建設所
平賀 美沙
2020年入社4年目

大成建設株式会社
関西支店 新名神高速道路
成合第一高架橋作業所
三嶋 瑞季
2021年入社3年目

西日本高速道路株式会社
関西支社 総務企画部 広報課
前職「新名神大阪西事務所」
富樫 ゆり香
2008年入社16年目

西日本高速道路株式会社
本社 人事部
ダイバーシティ推進担当部長
小西 駒子

待する。

テレビ会議やデジタル図面がリアルタイム化されれば、対面での打合せ、現場への移動も必要なくなる。また共働き世帯が七割の現状で転勤はネック。建設業で働きたくない要因にもなっている。担い手不足も、DXにより解消できれば良い。

市村 担い手不足に関しては、経験を持った方が引退して、その経験が形として残らないのは非常に惜しい。データベースに失敗談や経験談も含めた経験値として溜めておき、すべての人が見て学べるように今以上に組み込んでいかないといけない。そのために建設業界だけではなく、いろいろな業界を含めて協力が必要。

将来の夢

市村 新名神高速道路が開通したら、すぐに両親と一緒に車で走りた

平山 今まで支えてくれた人へ、自分が成長することで恩返ししたい。土木分野だけでなく、電気や建

築などの分野の仕事にも挑戦し、技術者のプロフェッショナルになりたい。女性技術者の先輩が切り拓いてくれた道を、私が強固なものにした

三嶋 現場所長になりたい。そのために、多くの現場に携わり、現場のプロフェッショナルになりたい。

平賀 地盤のプロフェッショナルとして災害復旧に尽力したい。更には海外にもフィールドを広げ、活躍していきたい。

山縣 建設現場で培った知識・経験を、今度は高速道路を快適で安全・安心な道として守る仕事に生かし、高速道路のプロフェッショナルに成長していきたい。

濱本 現在の子育てをしながら現場で働いている経験を生かし、子育て中でも夢を目指す環境整備や、先輩のサポートをしていきたい。

最後に

小西 仕事はつながりが大事。女性技術者はまだまだ少ない。本日もつながった縁を大事にし、更に広がって



ただけたら嬉しく思う。皆さんは後継に続いていく人たちの憧れでもあるので、建設業界を盛り上げてほしい。

——日建連とNEXCO西日本は、今後も引き続き建設業界の発展に寄与すべく、女性技術者の活躍に注力していく。